令和３年２月８日

令和３年度当初予算説明資料

番号	10
事業名	新たな学びの創造事業費
予算額（主な支出）	449,566 千円（1 人 1 台タブレット等 ICT 環境整備に係る貸借料： 314,918 千円）
特定財源	ふるさと応援寄付金：117,095 千円
事業の概要	令和２年度に整備した１人１台タブレットを、授業中の活用だけでなく家庭学習、学校アンケート、配布物等の様々な場面で活用する。家庭への「持ち帰り」は、タブレット活用に関するルールの周知や情報モラル教育などの準備ができた学校から、順次の運用を開始する。また「松阪ナビ」を活用しながら、イベント情報やボランティア募集など、松阪市からのお知らせを児童生徒や保護者へ周知するツールとしても活用する。
事業の背景など	日本の教育現場における ICT は整備・活用ともに国際的に遅れている。このような背景から、令和元年 12 月、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校における ICT 活用を促進するための「GIGA スクール構想（①高速大容量の無線 LAN 整備（令和２年度）、②1 人 1 台タブレットの段階的整備（令和２年度～令和５年度まで））」が閣議決定された。さらに令和２年度の国の補正予算において、感染症拡大防止等の観点から、上記②について令和２年度中の早期実現が求められることとなった。本市では令和２年 12 月までに市内 47 小中学校における高速大容量ネットワークの整備及び１人１台タブレットを整備し、令和３年１月より１人１台タブレットの利用を開始している。
目的・効果など	① ICT を活用した「場所」「時間」等にとらわれない学習機会の提供 ・地域格差、通信環境の整備状況等の家庭間格差の是正 ・家庭学習における ICT の活用（タブレットの持ち帰り） ② 創造性を育む学びや児童生徒一人ひとりの個に応じた学びへの活用 ・新学習指導要領への対応（主体的・対話的で深い学び、プログラミング教育 等） ・教科指導における活用（一斉学習、個別学習、協働学習 等） ・教科書改訂によるデジタル教材の活用（教科書 QR コード 等） ・学習状況等のスタディ・ログの蓄積と活用（学習傾向の分析 等） ③ 災害や感染症の発生などによる学校の臨時休業等の緊急時における活用
事業スケジュール	R3.４月～　活用に向けたルール作り等の準備ができた学校から、順次持ち帰り学習を開始 随時　休業時等におけるオンライン学習、双方向型オンライン授業の実施
担当課	教育委員会事務局　学校支援課　子ども支援研究センター 電話 26-1900